

- 10月の行事予定**
- 南児童館 ☎(84)3456
 - ・お月見会 4日(水)
 - ・ドッジボール大会、避難訓練 10日(火)
 - ・にこにこ広場 13日(金)
 - ・ハロウィン 16日(月)
 - ・みんなでクッキング 23日(月)
 - ・にこにこ広場 27日(金)



- 10月の行事予定**
- 西児童館 ☎(84)2321
 - ・お月見会 4日(水)
 - ・ちびっこ広場 6日(金)
 - ・避難訓練 10日(火)
 - ・手作りクッキング 12日(木)
 - ・ドッジボール大会 16日(月)
 - ・ちびっこ広場 20日(金)
 - ・ハロウィン 31日(火)

臨時休館のお知らせ【南児童館】10月28日(土)

夏祭り ～南児童館～



7月27日、南児童館では「夏祭り」を行いました。
 まず、スライム作り。ホウ砂液に洗たく糊を加え、色をつけて一気にかき混ぜれば完成。トロンとのばしたり、ひんやりした感触に大興奮でした。次は、番号が書いてあるたくさんのボールの中から、くじで引いた番号のボールを探すぐゲームです。あつという間に探つけられず悔しがる子がいきました。また、食品トレーで作った魚を水に泳がせて魚釣りもしました。おみやげにお菓子の詰め合わせをもらい、児童館特製のシャーベットを食べべて涼しさを味わいました。

何でも工作? ～西児童館～



8月18日、西児童館では「何でも工作?」を行いました。
 牛乳パックなどの紙片、タコ糸、輪ゴム、紙コップやストローなどを材料にして、どのような遊びができるかヒントを与えて、自分で工作をしました。
 人気があったのは、紙片を丸く切った後、真ん中に二つの穴をあけ、そこにタコ糸を通して、ある程度の長さにして結んで完成する「ぶんぶんゴマ」です。まわし方を覚えると得意げに回していました。
 このほか、「ぼっちんカエル」や紙コップとストローを使った工作なども人気がありました。簡単な材料でも少し工夫をすれば遊べることを実感できました。

思いやりの心で明るい社会を

境・五霞人権教育講演会が開催されました

8月10日、境町中央公民館において、境・五霞人権教育講演会が開催されました。両町教育長をはじめ教職員のみなさんなど174名が参加しました。

講師に猿まわし師の村崎太郎先生をお招きし、「橋はかかる」と題してご講演をいただきました。先生は次郎と共に日本各地の限界集落、ハンセン病療養所、原爆被害者のみなさんなどを訪ねる出会いの旅を続けており、2010年6月には「橋はかかる」を出版し、部落問題に関して新しい視点で言及し、話題を呼んでいます。
 先生は、同和教育を受けた時に感じたことやこれまでの経験など、また自らが部落差別をなくすために行ってきた啓発活動や芸能などについて熱い想いでお話をされました。
 先生のお話からは、「心の中の問題はなかなか解決されない。生きざまがとでも影響されてしまう。」「みなさんに自分の問題ととらえてほしい。また、もっと深



く、もっとリアルに理解をすることが必要。」など、高ぶる感情を抑えながら印象に残るメッセージをいただきました。
 講演会終了後には、人権啓発映画として「Imagination 思うつながる 一歩ふみだす」の上映が行われました。この作品は、いじめ問題、同和教育、発達障害のことについて、自分とは関係ないと思っている人でも何気ない日常の中で、まず、ほかの人の「心」を想像すること、相手のことを知ること、思うことが大切であり、そこから人と人がつながり互いが人権を尊重し合って生きていくために、一歩ふみだして行動することで少しずつ変わっていくという内容でした。講演会を通して、人権問題について正しい理解を深めることができました。